

第12回「友の会ウィーク」

コロナ対策を徹底し、無事開催

～初の試み「子ども映画会」と「図書館川柳」も実施～

昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により「友の会展」のみに終わった「葛飾図書館友の会ウィーク」は11月5日(土)から23日(水・祝)まで開催されました。

参加者にはマスク着用と手指の消毒、さらにイベント会場の入り口での検温などの協力を求めました。友の会のクラブや委員会と、図書館に登録している4団体の参加により、計18イベントが中央図書館を会場に開催されました。

今年初めて子どもたちを対象にしたムーミンの映画会開催や「友の会」を知ってもらうための「図書館川柳大会」、また2カ所の展示コーナーを利用した「友の会展」も実施しました。ウィークの最後は立石一夫氏の特別講演会で締めくくりました。厳しいコロナ禍にもかかわらず、参加団体の活躍と中央図書館の協力や多くの方々の来場により、日頃の活動成果の披露とイベント開催が無事できました。

今号はこの「葛飾図書館友の会ウィーク」の開催内容を特集します。

立石一夫氏による特別講演会 『昭和の葛飾の思い出

～懐かしい、商店街・映画館・夜店などの魅力を語る～』を開催



友の会ウィークの最終日の11月23日(水・祝)、中央図書館会議室にて、「ヒーロー研究家」の立石一夫氏を講師とする特別講演会を、中央図書館と共催で開催しました。

立石氏は葛飾区出身・在住で、幼少の頃より映画・テレビ・マンガ・スポーツ界のヒーロー研究に没頭、その第一人者を自認されています。著書も多く、葛飾区内の図書館でも閲覧できます。今回は、少年時代を楽しく過ごした昭和30年代を中心として、思い出の商店街、映画館、夜店、遊びなどを楽しく語っていただきました。さらに、火事に遭って小学校で生活したこと、水害に遭ったが手作りボートに乗ったことなど、貴重な体験を聞けました。

写真集「葛飾区の昭和」からの写真をスクリーンに映しながらの講演だったので、懐かしい映像を見られた、良く知った場所の今と異なる風景を見られて良かったなど、好評でした。また、前半と後半の最後に、加山雄三・仲宗根美樹などの当時のヒット曲や、「月光仮面」や「地球防衛軍」などの少年少女向けの歌・音楽をCDで聴きました。思い出が甦った、懐かしかった等の他、初めて聴き、いい音楽で良かったなど、これも好評でした。雨天に関わらず多くのご参加をいただきました。立石氏、共催の葛飾区立中央図書館、ご協力いただいた多くの皆様に感謝いたします。

(イベントクラブ 北野)

おはなしくらぶの活動

ほのぼの感を出した『展示コーナー』

季節は秋、大きな木の下では森に住む動物たちがおはなし会。ガラスケース内に講習会で作成したミトン、手袋人形をかわいく配置、ケース上に読んだ絵本を見やすく陳列。ほのぼの感満載のコーナーが出来上がりました。

楽しいひと時『わらべうたであそぼう』

13日(日)14時に開催。集まったのは小1女子の親子2組と会員含めた大人12名の合計16名。ゴザに座り「千手観音」のシホン探しで開幕、顔遊び指遊びで緊張がほぐれ「おもちゃぞえうた」ではスタッフの頭にお手玉を皆で順々に積み重ね、一喜一憂の大興奮。



わらべうた絵本を間に挟んで気分転換、ゴザを片付け広い場所で「うさぎうさぎ」で跳ね、「おおさむこさむ」は二組に別れ、手をつなぎ、掛け合い遊びを楽しみました。女子二人はわらべうたを直ぐに覚え、積極的にあそびに参加、老若みんなで楽しいひと時を過ごしました。

親子で参加！『おはなし会』

20日(日)15時半に開催。子ども10名と親御さんがゴザに座り、担当者の“1、2、3！”の掛け声で会場は「おはなしのへや」に。演目は手あそび、すばなし、絵本、ミトンうさぎなど、紙皿シアター「このおやさいなあに」は大盛り上がり。なあにの問いかけに積極的に〇〇と声を上げ、グルグルグルグルとみんなで掛け声、姿が現れ大当たり！と大歓声、拍手の楽しい会となりました。

(おはなしくらぶ 沢辺)

子ども映画会

ムーミンで一足早いクリスマス

親子で楽しく鑑賞



友の会ウィークのイベントとして、11月19日(土)午後2時から葛飾図書館友の会主催では初となる、子ども映画会を開催しました。上映作品は、1945年にフィンランドで本が出版されて以来、世界中で愛されているムーミンが主人公の「ムーミン谷とウィンターワンダーランド」。ムーミンといえば、日本では懐かしのカルピスこども劇場のアニメが有名ですが、この映画は、ポーランドで70年代後半から80年代前半に制作された短編TVシリーズ「ムーミン パペット・アニメーション」をもとに、長編映画として再構成した劇場版作品です。

うららかな小春日和の屋下がり、たくさんの親子(大人17名、子ども17名)が中央図書館に集まり、原作者のトーベ・ヤンソンさんもお気に入りというこのアニメ映画を楽しみました。冬のムーミン谷を舞台に、ひょんなことから冬眠せずに初めてのクリスマスを迎えることになったムーミン一家が繰り広げる大騒動の行方に、みんなでドキドキワクワク。一足早いクリスマス気分を味わいました。

(イベントクラブ 園田)

恒例のナイトシアターが初日の夜を飾る

映画好きの方々が多数来場

毎月定例の第2週の土曜日の夜、「ウィーク」中の11月12日に第142回を迎えたナイトシアタークラブによるDVD映画を上映しました。阿部寛、真木よう子、樹木希林などの出演による是枝裕和監督の『海よりもまだ深く』には開場前から入口に来場者が列を作るほどの“人気”。午後6時からの上映には50名以上の映画好きな方々が来場され会場のスクリーン前の席から埋まりました。2時間に及ぶ映画を堪能されたことと思います。

(ナイトシアタークラブ 中里)

毎日、多くの皆さまが図書館を利用してくださっています。その中で「葛飾図書館友の会」を沢山の方に知っていただく良い機会と思い、今回“2022 葛飾図書館友の会川柳大募集”を企画しました。川柳が集まるかどうか心配しましたが、下は8歳から上は93歳の方まで、多くの方に応募いただきました（応募者50名 川柳93句）。応募作品は11月5日（土）から11月23日（水）まで、順次中央図書館展示コーナーに発表させていただきました。“図書館あるある”から、ひねりを加えたユーモアあふれる句、イメージ膨らむ句、想像力豊かな句等、本当に楽しく読ませていただきました。展示コーナーでご覧になれなかった方は、下記の作品をお楽しみください。きっと心がほっこりすると思います。ご参加ありがとうございました。（友の会会長 鶴岡）

作	品	ペンネーム & 年齢
同じ本 読んだの忘れ 予約する / 名言を 書き写しても それっきり		レデオババ
その本が 君の人生 かえるかも / いてほしい 鬼平 梅安 慶次郎		70代以上
初めての 図書 寄りし 無知を知る / 静かなる 館にひろがる ペンの音		牛のシッポ 73歳
本好きの 息子と二人 朝、図書館 / 全ての本 読むのが夢と 語る息子		ぶん 30代～40代
寄り添える 絵本いつまで 三歳児 / 待ち合わせ 忘れ去らせる 罪な本		いちこ 50代～60代
どこまでも 連れていっておくれよ 文字たちよ / 毎日通う いやしの空間 深呼吸		白鳥紗貴 27歳
知に出会い 人に会える 本の森 / 筋トレに 図書館通えば ポケ知らず		50代～60代
ベストセラー 予約するも 1年後 / 図書館で 借りたい本は 貸出中		Happymama 70代以上
奥の棚 一葉さんと かくれんぼ / あきらめず まだ読めるよと 大字本		夢生 70代以上
寄り道の 耳をすませば 本の声 / 読んだ本 知識と共に 積み上がる		川柳かける 17歳
学び知り 改めて知る 我れの時 / ふと夢中 本の主人が 我れにあり		読書すきお 73歳
会議室 音訳例会 響く声 / 揺れる席 新聞広げ 駅までいくつ？		よっちゃん 70代以上
ベストセラー 予約の数で 知る人気 / 寝る前の 読書は睡眠 導入剤		ゆやまいママ 50代
予約本 なぜか重なる 貸出可		50代～60代
思いっきり 泣いてもいいかな 図書館で		本大好き 50代～60代
なにげなく 開くページに 滲みのあと		ヤオヨロズ 71歳
としょかんは しずかにしよういづつまでも みんなといっしょにしずかにね ほんをしらべてみようよ きっとすきな本が みつかるよ		8歳
“用意した” 忘れた頃に メール来た / 元旦が マルエツ休みに 開(あ)く図書館		男性 70代以上
図書館が 大好き我が家の 子ども達 / 伝記読み 昔の人と 旅をする		道は続くよ 50代～60代
話題作 予約できたら 「水濡れ」で / コピー取れ なんでページを 切り取るの		イズカアキユキ 36歳
年令(とし) 老いて 今日と読書で 明日がある / 何時の日も 心やすらぎで 文読し		イサムちゃん 70代以上
休館日 さあ どうしよう 行くとこない / 四ヶ所の 図書館巡り 一万歩		尾羽塚しい 50代～60代
としょかん 本がいっぱい たのしいな / わたしはね 本が大好き ごはんより		ブルマーメイド 10歳以下
図書館を 駆けて巡るは 英雄の馬 / 本の虫 リスキリングの 季節来る		Naho Takeshita 30代～40代
図書館で 長居すれば 節電に / 図書館は 貧乏人の 味方です		カネなし老人 84歳
図書館は 無限に湧き出る 知の泉 / 読みたい本 見つけた時の わくわく感		働きアリ 56歳
図書館に 関する川柳 悩ましい / はてしない 物語に あえました		スピレ 55歳
しないよね 自分の本なら そんなこと / 好奇心 開く扉の 第一歩		居眠り庵 50代～60代
携帯で 「検索」使って 迷い込む / 家よりも 図書館の椅子 わが居場所		70代以上
残業後 寄れる図書館 ありがたい / 日曜日 八時閉館 忘れてた		おっさん 50代～60代
文庫本 目立つスマホの 電車内 / 中高年 本の世界で 青少年		山茶花 70代
静けさに 本を開いて 寝落ちする / 流石です レファレンスの 捜査力！		よみびとしらず
図書館は 私の心の オアシスだ / 図書館に 来てまでスマホを いじるのか		葛飾のMr トップガン50代～60代
「吾が輩は猫」になりたや このブーム / 蜘蛛の巣を すぐに払って 地獄行き		黄色いチューリップ 50代～60代
今日もまた 昼寝してます 図書館で		メザシ
図書館も 老いの通路 昨日今日 / 老いてなお 未知の世と人 知る読書		のらくま 93歳
貸し出しで 心にスクショ 響く本 / 図書館は 心に栄養 くれるとこ		ともき 30代～40代
借りた本 絶版物だと 後で知る / 端末を 使わず探す アドベンチャー		Bookりしたなあもー 46歳
えんとつ町のペル親心に「ほろ」 / 文字を追う こちよさに 目を閉じる		日なたぼっ子 67歳
読む力 本と新聞で 身につけた		30代～40代
きまずくて 時間つぶしの 図書館か		ブランド・ヒロ 70代以上
世界地図 地球を歩く 蟻一匹 / 言の葉の 本が木なら 館(ここ)は森		30代～40代
図書館が なんでこんなに 好きなんだろう / 新しい 扉に誘う 一ページ		ばばちゃん 50代～60代
休館日 欠伸(あくび)の数が 多くなり / 図書館で 暮らしのリズム 絶好調		四季麻呂 70代以上
前借りた 又聞く妻の あきれ声 / 着信音 眼覚めて刺さる 冷視線		翠風子 70代以上
半世紀 あなたとわたしを つなぐ本		真美 70代
自分だけ 知ってる名作 ものかげに / 物語 一つ一つが 輝いて		中村四葉 10代～20代
図書館へ 分かれぬ課題 丸投げし / 図書館と 友の歩みて 半世紀		あ～ちゃん母 50代～60代
本読みに 図書館にくる 秋の雨 / 一句作り 見てくれる人なし かけりにみせる		(記入なし)
時のかみ(紙・髪) 孫本厚く じじ薄く / どの新聞 読んでも負けてる 巨人軍		翠風子 70代以上

寺山修司と谷川俊太郎の「ビデオ・レター」の謎 二人は何を語ったのか？ フロによる詩と短歌の朗読も

11月20日(日)午後2時から第8回映像文学館『寺山修司&谷川俊太郎
謎の「ビデオ・レター」』を開催しました。第1部はこのイベントのために賛
助出演された岩間太郎さんにより「ビデオ・レターという試み」という詩人の

谷川俊太郎氏の回顧と詩「二十億光年の孤独」、また寺山修司の有名な短歌4首が朗
読されました。活字では醸し出せないニュ
アンスが岩間さんの明瞭な声と歯切れの良い
リズムで生きた言葉になりました。

第2部は二人の間でのビデオによる交歓
を描いた図書館所蔵のDVDの上映でした。劇作家・演出家としての活動のかたわ
ら、小説・批評・詩、歌謡・映画などに才能を発揮し急死した天才と、まだ旺盛な
活動を続けられている谷川氏の間で、1982年から2年近く交わされたビデオを
通しての“会話”の内容は少々難解でしたが、二人の生(なま)の映像日記は極め
てユニークな方法でビックリしました。悪天候にも関わらず来場された方の中には
終了後も、このイベントを企画した担当者と会話をされていたのが印象的でした。

(広報委員会 中里)



(朗読される岩間さん)



☆☆☆☆☆「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！☆☆☆☆☆

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご
入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 友の会の開催イベ
ント時でも直接の入会受付を行っていますので、是非ご利用ください。年会費は一般会員 1,000 円、賛助会員は1口2,000
円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は
中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座
に納入してください。図書館での年会費の直接納入はで
きません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、2022 年度年会費とご記入下さい。また1口500 円の寄
付も大歓迎です。払込手数料は窓口では203円、ATMからでは152円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいた
します。入会届はHP (<https://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

お問合わせ先：中央図書館友の会担当者(茂木さん、吉村さん、川井さん、嶋田さん) Tel 03-3607-9201

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

色えんぴつ

理由もなく寝付かれない夜、
あなたはヒツジが一匹、ヒツジ
が二匹と数えますか？ 古来日
本にはヒツジがいず、今もそう
身近な動物とも言えず、これは
牧羊国からの輸入で我々の身に
付いた習慣ではない気がするの
だけれど▼私が試みるのはま
ず、数が決まっているものを数
えること。取り敢えずはその1、
百人一首の下の句だけを行か
ら順に思い出していく(「曉ばか
り憂きものはなし」など)。その
2、アメリカ50州をやはりア行
から(地理の時間の課題だっ
た)。その3、花の名前を100以上
▼運がよければ50なり100なり
に届かぬうち眠りつくのだが、
うっかりクリアしてしまうと新
たなジャンルに切り替える手間
が出来。苦手と分かっているの
に(「苦手だから?」)知る限りの
英単語をAから思い浮かべる。
当然いつか頭にはもやが▼と
っておきの『眠れぬ夜の楽しみ』
もある。愛読書を映画化すると
したらベストな配役は? 主演
はあの彼が似合っているのだけ
ど、あいにく役にふさわしい年
齢は過ぎていて、脇にぴったり
なあの俳優も物故▼などリア
ルに悩む必要もなかった。遊び
ならどの人物のどの時代でも好
きなだけ取り混ぜて理想のリス
トを作れる。楽しい。だが楽し
すぎて難、また眠れなく「な
ってしまふのだ。」

(林広報委員)